

経営比較分析表

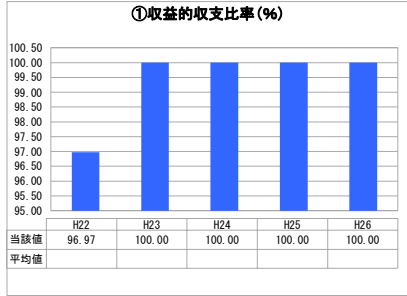
岡山県 鏡野町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	林業集落排水	G3	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	0.59	100.00	3,240

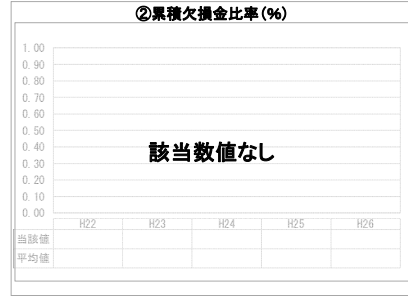
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
13,773	419.68	32.82
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
80	0.11	727.27

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
□	平成26年度全国平均

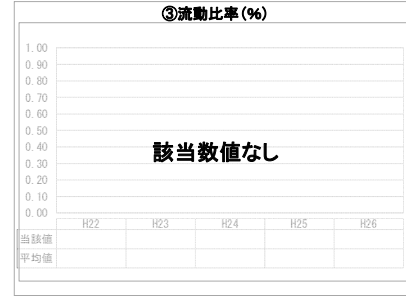
1. 経営の健全性・効率性



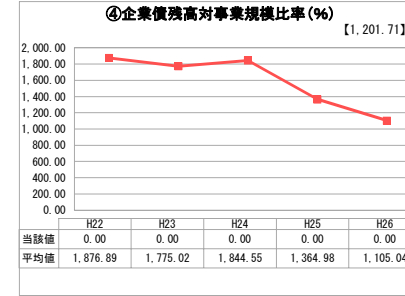
「単年度の収支」



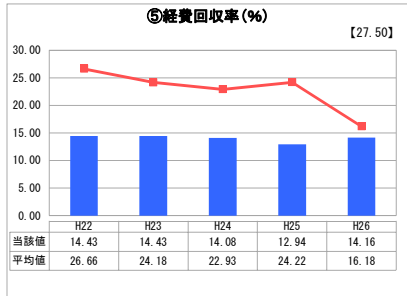
「累積欠損」



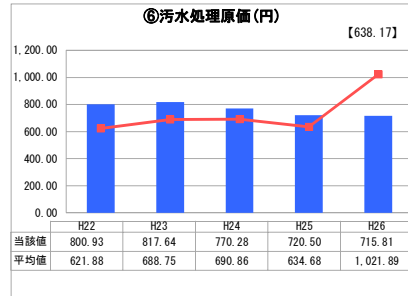
「支払能力」



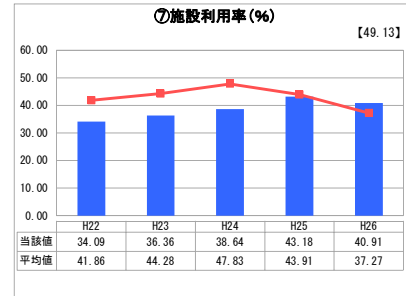
「債務残高」



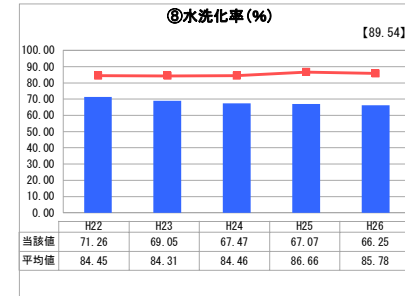
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

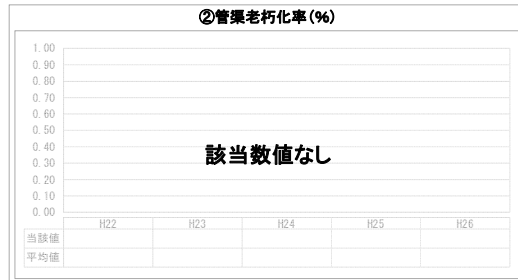


「使用料対象の捕捉」

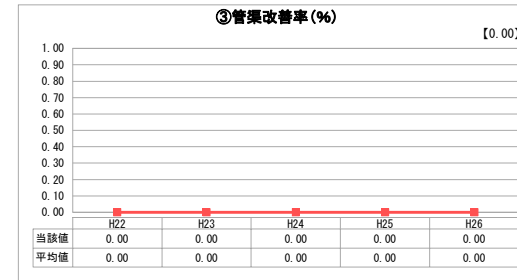
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

林業集落排水施設は、奥津地区の羽出西谷上と源泉の2か所に整備しています。
2地区合わせても対象人口が80人と非常に規模が小さいことから、経営は非常に厳しいものとなっています。
①収益的収支比率は100%ですが、⑤経費回収率は14.16%であり、起債の元利償還以外の維持管理経費も、その85%を一般会計繰入金に頼っている状況です。
⑥汚水処理原価について、平成26年度は類似団体を下回ることができましたが、これは施設修繕を抑制することができたことに起因するものです。
⑧水洗化率が平均を下回っていますが、高齢者世帯が多いこと、既に浄化槽を設置している世帯もあることを考えると、大幅な向上は望めない状況とも言えます。

2. 老朽化の状況について

施設はそれぞれ平成14年と15年に使用開始しており、新しいものです。
施設規模や経営状況から、単独の大規模修繕は不可能な状態であり、今後迎える施設設備更新時期には、機能強化事業等何らかの助成が受けられる方策の検討が必要となります。

全体総括

林業集落排水事業は、規模が極端に小さいため、経営という観点からは非常に厳しいものとなります。
平成26年度決算では、年間維持管理費が2施設合わせて469万円で、うち処理場2施設の管理委託に249万円、ポンプ施設の管理委託に101万円となっていますが、これも機能を維持する最低限の業務内容となっており、より一層の経費削減も難しい状況です。
また、他の下水道事業とも隣接しておらず、事業の統合も困難な状況です。
今後は、町の他部局や県等とも協議を重ね、何らかの対策を実施する必要があると考えています。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。